

令和4（2022）年度
廿日市市との包括的連携協定に伴う
地域連携センター活動報告書

山陽女子短期大学
地域連携センター



令和 4（2022）年度地域連携センター活動報告によせて

山陽女子短期大学 地域連携センター長

金岡 敬子

山陽女子短期大学に、広島県内の大学・短期大学に先駆けて、生涯学習センターが設置されたのは、平成元（1989）年のことです。平成 24（2012）年には、機能をさらに強化し、活動領域を広げた組織として、地域連携センターが設置されました。また、その翌年の平成 25（2013）年には、廿日市市との間に「包括的連携協力に関する協定」が結ばれました。

こうした経緯で設置された地域連携センターは、現在、生涯学習部門、産官学連携部門、自治会部門が連携を取りながら、事業の運営を行っております。事業につきましては、本学の特性と地域からの要請を踏まえて、「1. 食と健康の増進」、「2. 教育・文化・生涯教育の推進」、「3. 地域の活性化・まちづくりの推進」、「4. 人材の育成」、「5. 環境活動の推進」、「6. 産官学連携事業」、「7. その他の事業」の 7 分野で展開しております。また、事業を推進していくためには学生の参加協力が不可欠であることから、学内にボランティア委員会を設置し、学生のボランティア活動のサポートに当たっております。

廿日市市との協定締結の 10 年目に当たる本年度は、41 事業に関わりました（そのうち、実施あるいは参加の要請がなかった事業もあります）。実施・参加した異形の詳細については、本報告書に掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

本学地域連携センターの活動は、各方面のご協力によって、運営されています。この先も廿日市市の各部署、佐方自治会の方々との協議を重ねながら、さらなる発展を目指す所存でございます。

今後とも、山陽女子短期大学地域連携センターの活動に対して、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和４年度 山陽女子短期大学地域連携センター事業一覧

１．食と健康の増進

実施時期に※がついている事業は、要請がなかったなどの理由によって実施しなかった事業

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
１－１	高齢者対象 栄養と健康	９月	廿日市市民センター	吉村	○
１－２	高齢者対象 栄養と健康	９月	佐方自治会 (佐方市民センター)	吉村	
１－３	SAT システムによる食事指導	１０月	佐方市民センター	津村	
１－４	災害時の栄養と食事に関する講座	※	廿日市市福祉保健部 社会課		
１－５	保健指導関連事業	※	五師会		

２．教育・文化・生涯教育の推進

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
２－１	生涯学習フェスティバル (はつかいち環境フェスタ)	１１月	廿日市市教育委員会 生涯学習課	岡崎	
２－２	山陽女子短期大学公開講座	前期 ５～６月 後期 ９月	廿日市市教育委員会 生涯学習課	金岡	
２－３	七福大学	７月	佐方市民センター	金岡	
２－４	親と子の野菜教室	年６回	JA 佐伯中央	鈴木	

３．地域の活性化・まちづくりの推進

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
３－１	街道まつり	１１月	廿日市市郷土文化研究会	岡崎	
３－２	「桶寿司」講習会	１２月	廿日市商工会議所婦人部 廿日市市郷土文化研究会	津村	
３－３	けん玉商店街“七夕まつり”	７月	廿日市駅通り商店会	水本	
３－４	廿日市市民センターまつり	１１月	廿日市市民センター	岡崎	
３－５	廿日市応援隊:山女姫散歩	１１月、２月	廿日市市商工会議所	石永 梅本	○
３－６	けん玉ワールドカップ	７月	廿日市市	鈴木	

佐方 1	れんげ祭り	中止	佐方自治会	石永	
佐方 2	一人暮らしの高齢者への食事の提供と食事指導	7 月	佐方自治会	中野	○
佐方 3	佐方夜市夏祭り	7 月	佐方中央商店街	藤原	
佐方 4	佐方地区敬老会	9 月	佐方自治会	石永	
佐方 5	地域花いっぱい運動（佐方地区）	6 月、11 月	佐方自治会	石永	
佐方 6	子供餅つき大会	11 月	佐方自治会	石永	
佐方 7	佐方地区とんど祭り	1 月	佐方自治会	石永	
佐方 8	さがたっこひろば	11 月	佐方市民センター	岡崎	

4. 人材の育成

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
4 - 1	インターンシップの推進	8 月、9 月	廿日市市人事課 企業・施設の担当者	金岡 岡崎	
4 - 2	ゼロからはじめる癌登録	※		梅本	
4 - 3	生理機能検査スキルアップ研修	年に 2 回		溝渕	
4 - 4	広島 US meeting	3 月	広島 US 向上委員会	溝渕	

5. 環境活動の推進

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
5 - 1	手指衛生等の出前授業	申込次第	廿日市教育指導課	藤井	
5 - 2	台所用品の衛生度チェック	申込次第		藤井	

6. 産官学連携事業

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
6 - 1	ひろしま地域食材 PR 促進事業	7 月～2 月	ひろしま地産地消推進協議会	岡崎 藤原	

7. その他の事業

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
7-1	ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン	9月		尾田	
7-2	エイズ啓発活動	6月、12月	広島県広島市（一社） 広島県臨床検査技師会	岡村	
7-3	ひろしまフードフェスティバル	10月	JA 広島	岡崎	
7-4	廿日市市消防団「機能別団員」	6月～1月	廿日市市消防署	小野寺	
7-5	広島野球傷害検診(HYMECS)	2月	広島野球傷害検診運営委員会 広島大学整形外科学教室	溝渕	
7-6	献血推進活動	5月～12月	広島県赤十字血液センター	小野寺	○
7-7	日本骨髄バンクドナー登録会	5月～1月	公益財団法人ひろしまドナーバンク	小野寺	○
7-8	地域学校協働活動「ワクワク学び隊」	9月、12月	広島県教育委員会生涯学習センター	小野寺	○
7-9	認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会	7月	廿日市市社会福祉協議会	小野寺	○
7-10	青少年赤十字創設 100 周年特別事業「100 万羽おりづるプロジェクト」	6月、8月	青少年赤十字広島県指導者協議会 日本赤十字社広島県支部	小野寺	○
7-11	広島県赤十字ボランティア研修会	3月	日本赤十字社広島県支部	小野寺	○

事業報告

1. 食と健康の増進

【1 - 1】

高齢者対象 栄養と健康

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	健康寿命を延ばすために 低栄養防止 フレイル・サルコペニア・ロコモ
共催団体名および 共催の経緯	山陽女子短期大学連携事業
年・日時	2022 年 9 月 15 日 13:30～15:00
活動拠点	廿日市中央市民センター
参加者	受講者数： 12 名
活動内容	1.健康寿命と平均寿命について 2.高齢者の体の変化について 3.低栄養（栄養失調）???について 4.フレイルについて 5.高齢者が摂りたい栄養・食品について 6.栄養アップ対策について 7.Ⅰ：冷凍庫の利用 Ⅱ：加工食品の利用 Ⅲ：簡単調理 8.しっかり食べれるお口づくりについて 9.水分補給について 10.まとめ～高齢者の食生活で大切なこと～ 11.昨年作成した食事アップのポイントを動画で流す。くみサポ 以上をパワポで説明した
コメント	時間内に終了出来た。今回は試食（カレー味の小判焼き）あり。 受講終了後個人的に質問に 2 人来られた。 ①食事を食べる事が苦痛だとおっしゃり、健康のためにはそれでも無理に食べた方が良いのかどうか ②娘さんががんの闘病中でかなり痩せられているとの相談

【1－2】

高齢者対象 栄養と健康

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	健康寿命を延ばすために 低栄養防止 フレイル・サルコペニア・ロコモ
共催団体名および 共催の経緯	山陽女子短期大学連携事業
年・日時	2022 年 9 月 6 日 10：00～11：30
活動拠点	佐方市民センター
参加者	受講者数： 12 名
活動内容	1.健康寿命と平均寿命について 2.高齢者の体の変化について 3.低栄養（栄養失調）???について 4.フレイルについて 5.高齢者が摂りたい栄養・食品について 6.栄養アップ対策について 7.Ⅰ：冷凍庫の利用 Ⅱ：加工食品の利用 Ⅲ：簡単調理 8.しっかり食べれるお口づくりについて 9.水分補給について 10.まとめ～高齢者の食生活で大切なこと～ 11.昨年作成した食事アップのポイントを動画で流す。（くみサポ） 以上をパワーポで説明した
コメント	人数は台風の影響で少なかったが、その分興味を持って聞きに来られた方が多く、熱心でした。最後に質問も3点あった。 ①ミネラルがどんなものなのか。 ②間食は必要か ③1日3食摂取しているが夕食の量が多く、胃にもたれることもあるので、改善するためにはどうしたらよいか？

2. 教育・文化・生涯教育の推進

【2－1】

生涯学習フェスティバル

岡崎 尚(食物栄養学科)

目的または趣旨	地産地消をすすめるため廿日市市産の食材を使用するなど、地域食材を活用したレシピを紹介する。
共催団体名および共催の経緯	生涯学習フェスティバル実行委員会 令和3年度に実施したひろしま地域食材PR促進事業において、提案した廿日市食材レシピを紹介し、地域食材を地域に普及する。
年・日時	2022年11月6日 10:00～15:00
活動拠点	さくらピア（廿日市市市民ホール）
参加者	学生：2名
活動内容	令和3年度事業で実施した、廿日市市の水産資源を活用したアヒージョのレシピを来場者に紹介し、レシピのコピーを配布した。
コメント	学生が積極的に動き、来客対応やレシピの紹介がスムーズに行うことができた。



【2－2(1)】

第 42 回山陽女子短期大学公開講座（2022 年度前期①）

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：鵜根 弘行(人間生活学科)

目的または趣旨	「暮らしの中の危機管理」をテーマに 3 回シリーズで開催 第 1 回目は「新しい情報技術とセキュリティ」というテーマで、情報技術を使う上での危険と対策について解説した。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022 年 5 月 28 日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	参加者：28 名
活動内容	情報技術（ICT）の中で最近注目されるようになったものをいくつか取り上げるとともに、情報技術全般を使用するにあたっての危険性、および利用上の注意について解説した。
コメント	「食中毒」「血液検査」という健康志向のキーワードに対して、「情報技術」は受講生にとってとっつきにくいテーマなのではと、アンケート結果から感じました。



【2-2(2)】

第42回山陽女子短期大学公開講座（2022年度前期②）

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：岡崎 尚(食物栄養学科)

目的または趣旨	「暮らしの中の危機管理」をテーマに3回シリーズで開催 第2回目は「食中毒の原因とその予防」というテーマで、日常の食生活での注意点と対策について解説した。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022年6月4日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	参加者：28名
活動内容	日常の食生活の中で発生件数の多い食中毒について解説した。感染型食中毒（5種）、毒素型食中毒（3種）、山菜等の誤食および貝毒の発生状況、対策、事故事例など紹介した。
コメント	区切りのいいところで、参加者と対話形式を随時取り入れることで、聞きやすさや質問のしやすさを工夫すれば、より参加者との距離感が縮まったのではないかな。



【2－2(3)】

第 42 回山陽女子短期大学公開講座（2022 年度前期③）

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：三島 清司(臨床検査学科)

目的または趣旨	「暮らしの中の危機管理」をテーマに 3 回シリーズで開催 第 3 回目は、特に身体管理にスポットを当て、「血液検査から分かること」と題して講演した。
共催団体名および 共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022 年 6 月 11 日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	参加者：30 名
活動内容	先ず、血液成分の種類、血球（白血球、赤血球、血小板）の機能について紹介した。 次いで、血球検査で見つかる病気について解説した。 最後に、検査結果に記載されている基準範囲の意味と検査結果の見方について解説した。
コメント	アンケート結果からは講義内容については概ねご理解いただいたと推測する。 講演時間が予定より少し長くなり、質問時間が十分取れなかった点が反省点である。



【2－2(4)】

第 42 回山陽女子短期大学公開講座（2022 年度後期①）

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：岩井 健吾(人間生活学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022 年 9 月 9 日 13：30～15：00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	受講者数：20 名 サポート学生：6 名
活動内容	Word を使った文書作成の講義を第 1CAI 教室で実施した。参加者の方には講義資料を配布し、モニターで操作を見せつつ説明し、パソコンの操作を一緒に行う形で講義を行った。具体的な講義内容としては、Word を使用して、横罫線のお手紙を作成する演習を行った。まず、1) 無料フリー素材のホームページから画像ファイルのダウンロードを行い、次に、2) ダウンロードした画像ファイルを Word のヘッダーエリアとフッターエリアに配置し、3) 横罫線の設定を行い、文章の作成を実施し、最後に、4) 作成したお手紙をプリンターで印刷した。
コメント	今回の講義内容は、1 回の講義で扱う項目が多すぎたため、もう少し削った方が良かったと考えられる。配布資料は、Word の画面の画像を使用する際は、基準をずらさないように使用した方が良かったと考えられる。基準をずらしていたため、初心者の方には分かりにくい説明となっていた。



【2－2(5)】

第 42 回 山陽女子短期大学公開講座 (2022 年度後期②)

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：鵜根 弘行(人間生活学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および 共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022 年 9 月 13 日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	受講者数：19 名 サポート学生：4 名
活動内容	Microsoft Excel で表を作成する際に便利な機能について、実技を中心とした学習を行った。
コメント	当初想定していた以上に時間がかかってしまった。参加者からのアンケートにも書かれていたが、全員の作業が完了するまで待たずに先に進んでも問題ないのか、今後の検討課題としたい。次回は講義時間を 2 時間確保してはいかがかと考える。

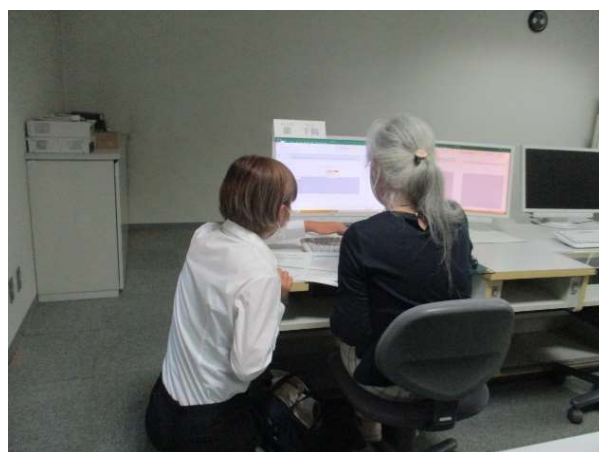


【2－2(6)】

第 42 回 山陽女子短期大学公開講座 (2022 年度後期③)

責任者：金岡 敬子(人間生活学科) 講座担当：鵜根 弘行(人間生活学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および 共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年・日時	2022 年 9 月 14 日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	受講者数：18 名 サポート学生：4 名
活動内容	2022 年 9 月 13 日の実習内容を踏まえ、Microsoft Excel でカレンダーを作る実習を行った。
コメント	2022 年 9 月 13 日の実習と同じく、当初想定していた以上に時間がかかってしまった。参加者からのアンケートにも書かれていたが、全員の作業が完了するまで待たずに先に進んでも問題ないのか、今後の検討課題としたい。次回は講義時間を 2 時間確保してはいかががかと考える。



【2－3】

七福大学（高齢者学級）

尾田 三世(臨床検査学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方市民センター 毎年1回、山陽女子短期大学教員が担当しており、今年度は臨床検査学科の尾田三世教授が担当した。
年・日時	2022年7月21日 13:00～15:00
活動拠点	佐方市民センター
参加者	受講者数： 約7名
活動内容	「ヒトの体のしくみ」をテーマに、前半では循環器・呼吸器・消化器・泌尿器などの臓器について簡単な構造と機能を紹介した。 後半では、「鼻の孔はどうして2つあるのか？」など、体のちょっとした不思議について紹介した。 その後、健康についての質問をいくつかいただき可能な範囲で説明を行った。
コメント	前半のからだの構造と機能は、説明に用いた図が詳しすぎてわかりにくい点があったようであった。コロナ禍であり、皆さんの興味のある免疫の話の盛り込めばよかった。



3. 地域の活性化・まちづくりの推進

【3－2】

「桶寿司」講習会

津村 なみえ(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市に伝わる桶寿司の歴史を知り、復活した桶寿司のつくり方を学ぶ。
共催団体名および共催の経緯	主催：廿日市郷土文化研究会 郷土文化研究会正木様から重田先生に依頼があり、桶寿司文化の継承のため、2012年から毎年開催している。
年・日時	2022年12月2日 9:00～13:00
活動拠点	山陽女子短期大学 総合調理実習室
参加者	学生：9名
活動内容	郷土文化研究会（正木（康）、吉岡、大塚、正木）の皆様に4名にご協力のもと、廿日市市に伝わる「桶寿司」のつくり方を教えていただきながら作った。 重石をのせて漬け込む合間によもぎ餅も作った。 桶寿司とは何か、桶寿司を復活させたときのいきさつなどを聞き、談笑しながら桶寿司をいただいた。
コメント	学生たちも質問や味見をしながら楽しみながら作っていた。年の離れた方達とも和気あいあいと会話・交流ができていた。 食育インストラクター授業の一環として行っており、授業を選択していない学生にも呼びかけた結果、昨年よりも参加学生が多かった。今後も参加者が増えるようさらに呼びかけて実施したい。



【3-5(1)】

廿日市応援隊：山女姫散歩 第1回

責任者：梅本 礼子(人間生活学科) 石永 正隆(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市を更に盛り上げて、発展させるために学生目線で廿日市の見所食べ所を紹介する。
共催団体名および共催の経緯	廿日市商工会議所 2022年度の書面形式による外部評価委員会において、委員の方から、コロナで落ち込んだ観光を若い人の斬新なアイデアで活性化して欲しいと要請があったのでこれに応えた。
年・日時	2022年11月25日 9:00~14:00
活動拠点	宮島
参加者	学生：6名
活動内容	半日で宮島口から宮島を一巡りする散歩をしながら、見どころ、食べどころを撮影しながらホームページ用の宮島紹介記事を書いた。 以下のURLにアップされている。 https://hatsumeshi.com/sanjohime-1/ https://www.sanyo.ac.jp/news/post-11790/
コメント	店主の方や居合わせた観光客へのインタビューを行えばよかった。



【3－5(2)】

廿日市応援隊：山女姫散歩 第2回

責任者：梅本 礼子(人間生活学科) 石永 正隆(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市を更に盛り上げて、発展させるために学生目線で廿日市の各地域ごとの見所や食べ所を紹介する。あわせて、地域の情報を発信するだけでなく、その地域の活性化に繋がる課題もみつけ、改善に結びつける活動としたい。
共催団体名および共催の経緯	廿日市商工会議所 2022年度の書面形式による外部評価委員会において、委員からコロナで落ち込んだ観光を若い人の斬新なアイデアで活性化して欲しいと要請があったのでこれに応えた。
年・日時	2023年2月16日 10:00～16:00
活動拠点	宮島口・福面
参加者	学生：3名
活動内容	半日で宮島口周辺の散歩をしながら、見どころ、食べどころを巡り、廿日市商工会議所はつめしホームページ用の宮島口紹介(画像掲載・記事)を以下のURLにアップされている。 https://hatsumeshi.com/sanjohime-2/ 大学のホームページお知らせにも上記URL紹介とともに活動を紹介アップされている。 https://www.sanyo.ac.jp/news/post- /
コメント	店主の方や観光客へのインタビュー、散歩した海岸通りの記事や写真掲載を複数アップすれば、より臨場感があって多くの方に伝わりやすかったと思われた。

【佐方2】

一人暮らしの高齢者への食事の提供と食事指導

責任者：中野 尚子(食物栄養学科) 水本 沙織(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市佐方地区の一人住まいの高齢者に昼食の弁当を配布した。 目的は、他人との関わりが少なくなっているコロナ禍に、一人住まいの高齢者の食事のサポートを行うこと、また食事の提供による食育を行う事で、健康な食生活を送ってもらうことである。
共催団体名および共催の経緯	佐方アイラブ自治会 一般社団法人全国栄養士養成施設協会
年・日時	2022年7月8日 11:00 お渡し
活動拠点	山陽女子短期大学 集団給食実習室 廿日市市佐方市民センター
参加者	佐方地区高齢者：70名 学生：14名
活動内容	2022年7月8日 11:00 大学に佐方アイラブ自治会担当者が到着・弁当のお渡し献立 ・散らし寿司 ・天ぷら ・南瓜と高野豆腐の煮物 ・デザート（水羊羹・オレンジ）
コメント	例年高齢者を招いての食事会であったが、新型コロナウイルスの影響で来学していただくことが難しく、直接召し上がられている反応を見ることができず残念だった。



【佐方 5（1）】

佐方花いっぱい運動①

石永 正隆(食物栄養学科)

目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして「佐方花いっぱい運動」にボランティアとして参加
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方自治会 佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つ
年・日時	2022 年 6 月 18 日 7：30～9：15
活動拠点	佐方地区 西広島バイパス佐方 2 号トンネル入り口花壇
参加者	学生：3 名
活動内容	7：30 に集合し、学生ボランティアは、担当となる西広島バイパスの佐方 2 号トンネル入り口の花壇に地域の方々と一緒に花を植えた。花壇には多くの石ころやコンクリートのかげらがあり、これらを取り除き、耕された花壇に黒のビニールシートを被せ、適当な間隔で穴を空け、花を植えた。
コメント	募集期間が一週間と短かったので参加者が少なかった。バイトを入れていた学生もいたようなので、もう少し早くから募集をかけるべきであった。



【佐方 5（2）】

佐方花いっぱい運動②

石永 正隆(食物栄養学科)

目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして「佐方花いっぱい運動」にボランティアとして参加
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方自治会 佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つ
年・日時	2022 年 11 月 26 日 8：00～9：30
活動拠点	佐方地区 西広島バイパス佐方 2 号トンネル入り口花壇
参加者	学生：5 名
活動内容	8：00 に集合し、学生ボランティアは、6 月と同様西広島バイパスの佐方 2 号トンネル入り口の花壇に地域の方々と一緒に花を植えた。花壇には多くの石ころやコンクリートのかげらがあり、これらを取り除き、耕された花壇に黒のビニールシートを被せ、適当な間隔で穴を空け、花を植えた。 今回は地域の方々から、「花を植えて人々を笑顔にするだけでは無く、犯罪をなくすための活動でもある。花を植える管理する。地域の人の目が行き届き犯罪が減る」と伺い大変驚くと同時に納得し、また活動に参加したいと思ったようだ
コメント	募集期間が一週間と短かったので参加者が少なかった。バイトを入れていた学生もいたようなので、もう少し早くから募集をかけるべきであった。



【佐方7】

佐方地区とんど祭り

石永 正隆(食物栄養学科)

目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして「佐方とんど祭り」にボランティアとして参加
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方自治会 佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つ
年・日時	2023 年 1 月 14 日 12：30～16：30
活動拠点	佐方地区 佐方小学校校庭
参加者	学生：4 名
活動内容	佐方自治会のとんど祭に、消火訓練の補助者として学生消防団が、また出店の手伝いにボランティアとして学生が参加した。消火訓練には親子が何組も参加し、学生達がしっかりサポートしていた。ただ1人のボランティア学生が軍手を真っ黒にしなが焼き鳥を焼きつつ販売もテキパキとやっていた。佐方の自治会の方々からは、いつも短大の学生さんには助けて頂き感謝ですとお言葉を頂いた。
コメント	学生消防団が期待に応えしっかりやってくれたので良かったが、ボランティア学生が1名だったのが残念だった。



【佐方 8】

さがたっこひろば（小学生対象の料理教室）

責任者：下地 隆(食物栄養学科) 松崎 好(食物栄養学科)

目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとしてさがたっこひろばにスタッフとして参加。
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方市民センター
年・日時	2022 年 11 月 12 日 9：30～13：00 佐方市民センターにて下準備、実習、片づけ
活動拠点	佐方市民センター
参加者	学生：5 名
活動内容	市民センターにて材料の計量、下準備を行い、事前に制作したパワーポイントを使用して当日使用する食材の簡単なクイズ等を行った。下地准教授が簡単なデモンストレーションを行い、学生 1～2 名が各台に分かれて小学生 17 名と一緒に豆腐プリンと手作りシュウマイを作った。全員で試食後片づけを行い、解散とした。
コメント	学生たちが小学生に積極的に話しかけ、けがもなく、楽しく実習を終了することができた。包丁を持つことが不安で泣いてしまう小学生もいたが、学生のフォローもあって最後には笑顔で調理をすることができた。学生たちは料理を教えることの楽しさだけでなく、難しさや達成感も味わえた一日となった。



4. 人材の育成

【4 - 4】

広島 US meeting

溝渕 亜矢(臨床検査学科)

目的または趣旨	広島県における超音波検査レベルの向上
共催団体名および共催の経緯	主催：広島 US 向上委員会 共催：キャノンメディカル株式会社
年・日時	2023 年 3 月 4 日 13:00~17:00
活動拠点	広島県
参加者	広島県および近隣県の医療機関に勤務する臨床検査技師および診療放射線技師
活動内容	広島県の超音波検査技術向上を目的とし、年に1度講習会を開催している。県内の若手技師に発表の場を設ける事と、県外の著名な医師や技師をお招きし、講演して頂く事を方針としている。溝渕は広島 US 向上委員会の役員として企画運営に携わっており、プログラム作成、講師選出等を担当している。今年度は開会の挨拶を担当した。 今年度も昨年に引き続き Web 開催となったが約 270 名の参加があり、次年度以降も継続予定である。コロナ後は学生にスタッフとして参加してもらい、臨地実習先、就職先の病院との繋がりをもつ機会としても活用していきたいと考えている。
コメント	本学卒業生も多数参加してくれていた。今後は本学卒業生が演者となれる機会を少しずつ増やしていきたい。



6. 産官学連携事業

【6－1】

ひろしま地域食材PR促進事業

岡崎 尚(食物栄養学科)

目的または趣旨	地産地消をすすめるため広島県産の食材を活用した商品開発を行う。
共催団体名および共催の経緯	江田島市（山本倶楽部（株））、倉橋島（倉橋島海産(株)）からの食材を使った土産物の開発の相談を受けた。 令和4年度に実施するひろしま地域食材PR促進事業において、県内産食材を利用してドレッシングのレシピを開発する。
年・日時	2022年7月13日～2023年2月末
活動拠点	山陽女子短期大学食物栄養学科
参加者	学生：12名
活動内容	江田島と倉橋島の特産品であるオリーブオイルと牡蠣を活用したドレッシングのレシピを考案する。この授業は、ひろしま地域食材PR促進事業（ひろしま地産地消推進協議会）にも参加しており、県内の農水産物を活用した料理の普及を行う。
コメント	学生が積極的に動き、来客対応やレシピの紹介がスムーズに行うことができた。商品化に向けて協議を継続中である。



広島県の食材を活かした料理の提案

[江田島・倉橋島の食材を活かしたドレッシングの開発]

江田島と倉橋島の特産品であるオリーブオイルと牡蠣を活用したドレッシングのレシピを考案します。この授業は、ひろしま地域食材PR促進事業（ひろしま地産地消推進協議会）にも参加しており、県内の農水産物を活用した料理を提案します。

まず10月に江田島のオリーブ園を訪問し、オリーブとカキについて学び、それからドレッシングレシピの開発をスタートしました。今年の1月19日には試作したドレッシングを企業の方や教員と一緒に評価しました。企業の評価は、乾燥カキの風味・食感がはっきりわかり面白い商品とのことでした。今後は、開発したレシピの情報発信に加えて、地元の企業と一緒に山陽女子短大発のドレッシングの商品化を目指します。

I オリーブ・牡蠣・えごまのドレッシング（A班）

材料

玉ねぎ	60 g	ごま油	15 g	カキエキス	6 g	鶏ガラスープ	1.4 g
醤油	40 g	オリーブ油	15 g	生姜	4 g	豆板醤	0.8 g
米酢	30 g	砂糖	8 g	えごま	4 g		

調理方法

- ① 玉ねぎをみじん切りにし、あめ色になるまで炒めて粗熱をとる。
- ② 予め炒ってあるエゴマをすり鉢でつぶす。
- ③ 炒めた玉ねぎと擦り下ろしたエゴマに残りの材料を加えて混ぜ合わせる。
- ④ 瓶詰をして、65℃以上で10分間以上加熱殺菌し、熱いうちに蓋をする。

アドバイス・工夫

- ・玉ねぎは、ドレッシング液が野菜とからむように細かく刻んでいる。
- ・刻んだ乾燥かきを入れて濃い目の味付けにしているので、動物性の素材と合い、野菜をたくさん摂ることができる。
- ・さらに、玉ねぎがたくさん入っているため、食物繊維を多く摂ることができる。
- ・コーンやハムを使うことで、鮮やかな色合いと動物性のうま味を付加できる。
- ・エゴマを使用しているため、健康に良いn-3系脂肪酸を摂ることができる。

班員

池永 美月、田中 莉央、森野 千慧、グエン アン グエット



Ⅱ オリーブと牡蠣の「こく」ドレッシング (B 班)

材料

醤油	45 g	カキエキス	13 g	砂糖	10 g	カラギーナン	3 g
酢漬け玉ねぎ	30 g	レモン汁	5 g	ねぎ油	2.5 g	和風だし	1.5 g
湯	20 g	オリーブ油	15 g	乾燥カキ	5 g		

調理方法

- ① 乾燥カキを細かく刻む。
- ② 湯を沸かし、和風だしを溶かす。
- ③ レモン汁、カラギーナン以外の材料を混ぜる。
- ④ 予め調製しておいた 1 %カラギーナンを混ぜ込み、とろみをつける。
- ⑤ 瓶詰をして、65℃以上で 10 分間以上加熱殺菌し、熱いうちに蓋をする。

アドバイス・工夫

- ・乾燥カキは刻みが粗いと、ドレッシングの下にたまるので、細かく刻んで使う前には良く振る。
- ・レモン汁は、風味が出やすいように後から混ぜる。
- ・とろみ付けのために使うカラギーナンは、最後に加えて混ぜる。
- ・サラダ油の代わりにオリーブオイルを使い、カキエキスを加えた。
- ・刻んだ乾燥カキを使用することで、カキの食感を出した。

出来上がりの特徴

- ・カキエキスと乾燥カキを使用し、カキの風味と旨味が強い和風ドレッシング
- ・刻んだ乾燥カキの食感がある。
- ・時間が経つと見栄えよくオリーブ油層、乾燥カキ層・玉ねぎ、調味液層に分離する。

班員

岡田晏菜、中山萌加、亀尾玲菜



Ⅲ 牡蠣とオリーブのフレンチドレッシング (C 班)

材料

カキエキス	8 g	水	40 g	砂糖	3 g
オリーブオイル	40 g	鶏がらスープ	5 g	塩	1 g
酢漬けタマネギ	40 g	レモンピール	3 g	胡椒	少々 g

調理方法

- ① レモンの皮をみじん切りにする。

②オリーブオイル以外の材料をボウルに入れて混合する。

③オリーブオイルを2回分けて混合する。

アドバイス・工夫

- ・カキエキスを半分にすることで、コクが弱くなったので、元に戻す方がカキの風味が強まる。
- ・フレンチドレッシングの色を残すため、色の付かない食材だけを用いた。
- ・酢漬けタマネギを入れたことによって、本来のフレンチドレッシングより味がまろやかになった。
- ・まろやかなドレッシングに仕上がっているので、キャベツ、ブロッコリー、キュウリなどの野菜のおいしさを引き立てることができる。
- ・ハムやゆで卵など動物性の素材にもマッチできる。

班員

岡村 あや、岸本 聡美、角 知怜



食品開発演習Ⅱ（D班）

材料

和風だし(粒粉)	3 g	オリーブ油	13.5 g	ニンニク(チューブ)	2.5 g
しょうゆ	40 g	砂糖	9 g	柚子胡椒	3 g
コメ酢	13.5 g	玉ねぎ	50 g	カキ(乾燥)	10 g

調理方法

- ①ニンニク、醤油、オリーブ油、和風出汁、砂糖、柚子胡椒、乾燥牡蠣をボウルに入れ、均一になるまでホイッパーで混ぜ合わせる。
- ②玉ねぎをフードプロセッサーにかけ、みじん切りにする。
- ③オリーブ油を温めて、②の玉ねぎを中火～弱火でじっくりと飴色になるまで炒める。
- ④①に③で炒めた玉ねぎを混ぜ合わせる。
- ⑤ビンに詰め、65℃以上で10分間以上加熱殺菌をして熱いうちに封をする。

アドバイス・工夫

- ・柚子胡椒を入れ、風味を良くした。
- ・玉ねぎは焦がさないよう弱火でじっくり炒める。
- ・玉ねぎと乾燥牡蠣は食感を残すために小さくしすぎない。
- ・味が濃いので少量かけるだけで良い。
- ・ブロッコリーやゆで卵との相性がとても良い。

班員

沖川 せり、白井 陽菜、松野 和、吉田 和佳奈



完成したドレッシング



右から：Ⅰ班、Ⅱ班、Ⅲ班、Ⅳ班

卒業制作展でのドレッシングの試食（2023. 2. 5）



山陽女子短期大学食物栄養学科栄養調理コースの卒業制作展において、各班のドレッシングの試食評価を行った。

江田島オリーブ園の見学



7. その他の事業

【7-4 (1)】

学生消防団①

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	研修、規律訓練 学生消防団
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年・日時	2022 年 6 月 5 日
活動拠点	廿日市市消防署
参加者	学生：9 名
活動内容	研修、規律訓練 学生消防団
コメント	今回は学生消防団の役割についての研修と規律訓練を行いました。学生消防団として広報活動は重要な役割であり、積極的に参加することが大切であると感じました。規律訓練では協調性を持って、みんなで心を整えることができました。



【7-4 (2)】

学生消防団②

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	学生消防団
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年・日時	2022年8月13日、9月6日、9月23日
活動拠点	廿日市市消防署
参加者	2022年8月13日 学生：11名 2022年9月6日 学生：5名 2022年9月23日 学生：5名
活動内容	救命訓練
コメント	・理解したことを実際に行うためには繰り返し練習をする必要があると感じた。実践を想定したシミュレーションを重ねることで、有事の時に対応が円滑になることを学んだ。体力がなく心肺圧迫を長時間行うことが難しかった。 ・心臓マッサージの事やもしもの時の応急処置、人の運び方など様々なことを学ぶことができました。自分がこのような場面に遭遇した際には今日学んだことを活かしてみようと思いました。

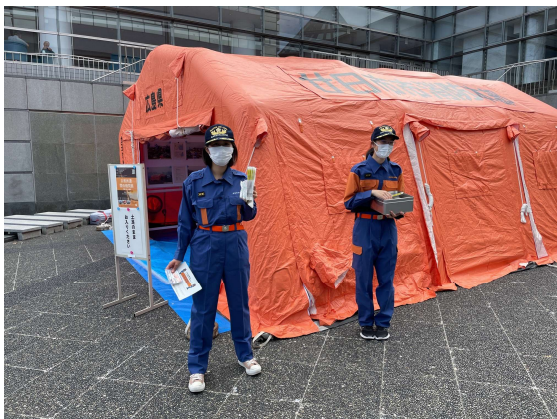


【7-4(3)】

令和4年度災害派遣関係機関展

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	消防団員募集案内 学生消防団
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年・日時	2022年9月17日
活動拠点	廿日市市役所 市民プラザ
参加者	学生：3名
活動内容	消防団員募集案内 学生消防団
コメント	様々な年齢の方と交流でき、地域の人々が集まる憩いの場になっていることが分かった。初めて行う活動内容だったため、改善点も多かった。



【7－5】

第8回広島野球傷害検診(HYMECS)

溝渕 亜矢(臨床検査学科)

目的または趣旨	広島県において肘・肩をはじめとした野球障害に苦しむ選手を一人でも減らしたいという有志が職種を越えて集まり始まったプロジェクト
共催団体名および共催の経緯	広島野球傷害検診運営委員会 広島大学整形外科学教室
年・日時	2023 年 2 月 23 日
活動拠点	広島県医師会館
参加者	コロナ感染拡大のため学生の参加は見送った
活動内容	広島県の小中学生の野球チームを対象とした野球肘の検診の主な目的は外側型野球肘である肘離断性骨軟骨炎を見つけることである。肘離断性骨軟骨炎は症状出現する前に診断すると手術を回避する事ができるが、症状が出現する前に検診するための医療体制はなくボランティアで事業を行っている。 今回の検診では参加者約 109 名に対し 4 台の超音波装置と 11 名の超音波専門スタッフで検査を実施した。コロナ以前は本学学生もスタッフとして参加していたが、感染状況を考慮し今年度は学科の判断で学生への協力要請は実施しなかった。
コメント	案内などのスタッフが足りず、子供たちの待ち時間が長くなった。次回は本学の学生にもスタッフとして参加して頂きたい。

【7-6 (1)】

献血推進活動①

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	献血推進活動
共催団体名および共催の経緯	広島県赤十字血液センター
年・日時	2022 年 5 月 3 日 イオンモール広島府中 学生 1 名
活動拠点	2022 年 5 月 7 日 ゆめタウン広島 学生：3 名 / 東広島はローズ 学生：2 名
参加者	2022 年 5 月 28 日 イオンモール広島祇園 学生：6 名 ※防災フェスタ 2022 年 6 月 18 日 ハローズ東広島 学生：1 名 2022 年 6 月 26 日 イオンモール広島祇園 学生：6 名 2022 年 7 月 16 日 ゆめタウン廿日市 学生：1 名 2022 年 7 月 18 日 イオンモール広島祇園 学生：4 名 ※キッズけんけつ 2022 年 11 月 13 日 ジ・アウトレット広島 学生：1 名 2022 年 12 月 29 日 イオンモール広島府中 学生：1 名
活動内容	献血推進活動
コメント	・同じ場所でもかたまらず、もっと散らばって呼びかけをすればよかった。通りかかった人に質問された時に適切に説明することができたのがよかった。感染対策のため声をださずに呼び込む形であったが、それでも多くの方に献血の協力をお願いできると感じた。 ・今回は献血ボランティアの人がいつもより多く、皆で受付や呼びかけを交代しながら連携をとって行うことができた。受付でスムーズに回すことができたのがよかった。イベントのサポートで小さな子供と触れ合う機会も多く、献血について広く広めることができた。防災フェスタには家族で多く参加されており、防災への意識が高まっていると感じた。 ・思っていたよりもたくさんの人に声をかけてもらうことができたのでよかったです。まだ慣れないことが多いけどがんばっていこうと思いました。今後の活動も積極的にやっていきます。 ・当日はゆめタウンに来ている人が多く、献血について多くの人に質問されました。献血に要する時間や、献血の用途などを説明して、今回初めて献血をしたと言ってくださった方がいて、非常に嬉しく思いました。 ・将来の献血を担う子供たちに献血を知ってもらい、理解を深めてもらうことで献血へ参加してもらえように取り組みました。体験では子供だけでなく、親御さんにも興味を持ってもらうことができ、献血推進に繋がったと感じました。 ・今回は子供向けに献血を知ってもらうためのゲームを開催した。次は子供たちにも分かりやすく献血について説明できるようになりたいと思った。

【7-6(2)】

献血推進活動②

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	献血推進活動
共催団体名および共催の経緯	広島県赤十字血液センター
年・日時	2022 年 10 月 16 日
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	学生：9 名
活動内容	大学祭 献血推進活動
コメント	今回初めて献血ボランティアの企画から運営まで携わることで、改めて献血に協力していただくことの難しさを実感した。また献血してもらうためには献血の大切さを伝えるのが大事だと感じた。積極的に動くことの大切さを改めて学んだ。



【7-7 (1)】

骨髄バンクドナー登録会

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	骨髄バンクドナー登録説明会
共催団体名および共催の経緯	公益財団法人ひろしまドナーバンク
年・日時	2022 年 5 月 21 日 献血ルームピース 学生：3 名
活動拠点	2022 年 6 月 25 日 ファミリータウン楽々園 学生：3 名
参加者	2022 年 8 月 30 日 献血ルームピース 学生：1 名 2022 年 10 月 2 日 イオンモール広島府中 学生：3 名 2022 年 11 月 12 日 献血ルームピース 学生：3 名 2022 年 11 月 20 日 献血ルームピース 学生：1 名 2022 年 12 月 10 日 ゆめタウン廿日市 学生：4 名 2023 年 1 月 11 日 廿日市市役所 学生：1 名
活動内容	骨髄バンクドナー登録会での説明、呼びかけ、実地研修
コメント	・骨髄バンクについて講習と研修を通して深く知ることができました。初対面の方と接することはなかなか勇気がいることで、思うように行動できない部分もありました。慣れが必要だと心底感じました。もっと自発的に行動することが大切であるということを学びました。 ・初めてだったので慌ててしまい、冷静にできなかったのが改善できるようになりたいです。次のボランティアに参加する時はもっと分かりやすく伝えられるようにしていきたいです。説明員としての自覚を持ち、最善を尽くしていきたいです。 ・骨髄バンクドナー説明員として登録されてはじめての登録会だった。分かりやすく丁寧に説明するのはやはり難しいと感じたが、回数を重ねるごとにスムーズに説明できるようになった。今回はテレビの取材も兼ねていたため多くの人に活動を広めていきたいと強く思った。 ・骨髄バンク全国大会での経験を生かして4人の人に説明することができた。途中で言葉が詰まったりしてしまったので説明の練習をしていきたいと思った。12人の人がドナーに登録してくださったので嬉しかった。他の大学の方の説明のやり方などがとても参考になった。 ・多くの人に骨髄バンクドナー登録をしてもらい、説明してよかったと思った。骨髄バンクについて何点か質問に答えることができなかったため、もっと知識を高めていきたいと思った。

- ・もっと多くの人に興味を持ってもらいたいと思った。骨髓バンク登録の説明においてはどう伝えたらよいのかが難しかったので、伝え方についてもっと改善すべきだと感じた。教科書を読むように説明するのではなく友達に話すように説明しないと相手に伝わらないということを学んだ。
- ・骨髓バンクドナーのことを知らない人が多いと感じた。私自身も説明員になるまで詳しくは知らなかったので少しでも多くの人に知ってもらい、ドナーの登録者が増えるとうい考えた。

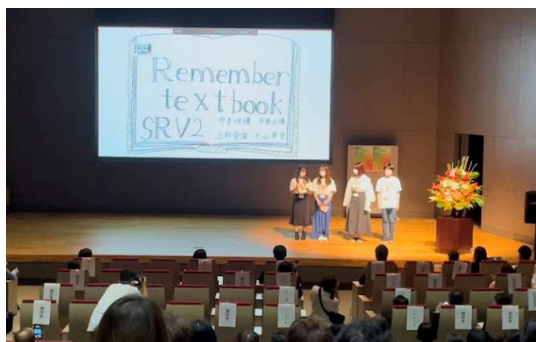


【7-7 (2)】

骨髄バンク推進全国大会 2022in 広島

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	講演、アイデアフェスの参加
共催団体名および共催の経緯	ひろしまドナーバンク
年・日時	2022 年 9 月 10 日、9 月 23 日、9 月 24 日
活動拠点	広島県医師会館 医師会ホール
参加者	学生：7 名
活動内容	9 月 10 日 オリエンテーション・インプットセッション@オンライン 9 月 23 日 ワークショップ 9 月 24 日 プレゼンテーション・審査「骨髄バンク推進全国大会 2022in 広島」
コメント	骨髄バンク推進のために、クリエイターの人達にアドバイスをいただきながら課題設定や問題解決方法のアイデアを具体的に出し合いプレゼンした。他大学のプレゼンテーションに圧倒され、学ぶべきところや真似すべきことが多いと感じた。心に響くプレゼンテーション能力を身に付けたいと思った。自分自身も何かできることがないか考えてみようと思った。



【7-7 (3)】

骨髄バンクドナー登録会

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	骨髄バンクドナー登録説明会
共催団体名および共催の経緯	ひろしまドナーバンク
年・日時	2022 年 10 月 16 日
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者	学生：5 名
活動内容	大学祭 骨髄バンクドナー登録会での説明、呼びかけ、会場設営
コメント	骨髄バンクについて説明したとき、言葉を詰まらせてしまったため、しっかり理解して説明できるようになりたい。説明する中で、骨髄バンクの手順やその大切さについて知ることができた。人により分かりやすく説明するためにもっと骨髄バンクについて知り、話し方を工夫しようと思った。



【7－8（1）】

ワクワク学び隊①

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	地域学校協働活動推進事業の活動内容の充実、活性化を図るとともに大学生の社会貢献活動への参加を支援する。
共催団体名および共催の経緯	広島県教育委員会 広島県立生涯学習センター
年・日時	2022 年 9 月 14 日、12 月 17 日
活動拠点	大竹市総合市民会館／オンライン交流会
参加者	学生：2 名
活動内容	大竹市の放課後子ども教室（一期一会クラブ）で工作とレクリエーションを実施した。ペットボトルやトイレットペーパーの芯などを用いて SDGs を意識しながら小学生と楽しくレクリエーションができた。
コメント	うまくいくかとても不安でしたが、工作の段階からみんな楽しんでくれてレクリエーションも全力で参加してくれたので、私達も楽しく活動することができました。時間配分を考えて行いましたが、その通りに物事を進めるのが難しかったです。子供たち全員が楽しんでくれたのでとてもやりがいがありました。また参加したいです。



【7－8（2）】

ワクワク学び隊②

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	地域学校協働活動推進事業の活動内容の充実、活性化を図るとともに大学生の社会貢献活動への参加を支援する。
共催団体名および共催の経緯	広島県教育委員会 広島県立生涯学習センター
年・日時	2023年3月1日、3月8日
活動拠点	府中北小学校、府中小学校
参加者	学生：4名
活動内容	放課後子供教室でタングラムというパズルゲームを行った。
コメント	みんな興味を示してくれて集中して様々な形を作ることができました。それぞれ案を出し合って、完成したらみんなで拍手をして達成感を感じてくれているように見えたので良かったです。 個人個人でやる時は、みんな自分で考えてほとんどヒントももらわずがんばっていました。次々難易度を上げていて、家に帰ってもやってみるとい子もいて嬉しかったです。



【7－9】

認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	「認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会」の研修会の補助
共催団体名および共催の経緯	廿日市市社会福祉協議会
年・日時	2022 年 7 月 3 日
活動拠点	あいプラザ
参加者	学生：2 名
活動内容	研修会の補助として、スマホでユーチューブを見る方法や、Google マップの使い方をお年寄りに教える。
コメント	YouTube や Google マップの使い方が分かると嬉しそうにしてくれて、私も嬉しくなった。お年寄りの方々と交流することは新鮮でよい体験となった。ゆっくり丁寧に教えることで分かってもらいやすいことを知った。



【7-10】

青少年赤十字創設 100 年特別事業「100 万羽おりづるプロジェクト」

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	日本国における青少年赤十字は、1922 年に誕生し、2022 年で創設 100 周年を迎えます。この活動は、赤十字の人道の理念のもと、実践的活動を通じ、やさしさや思いやりの心を育むとともに、子どもたちの自主・自立を促し、「生きる力」を育むことを目的とした広島県独自の事業です。
共催団体名および共催の経緯	青少年赤十字広島県指導者協議会 日本赤十字社広島県支部
年・日時	[2022 年 1 月 4 日 (火) ~2023 年 3 月 31 日 (金)] 6 月 18 日、8 月 11 日、9 月 23 日、9 月 24 日
活動拠点	日本赤十字社広島県支部
参加者	2022 年 6 月 18 日 学生：7 名 2022 年 8 月 11 日 学生：8 名 2022 年 9 月 23 日 学生：1 名 2022 年 9 月 24 日 学生：2 名
活動内容	1.参加者みんなで 100 万羽のおりづる製作 2.おりづるの連結・記録計測 (※ギネス世界記録挑戦) 3.おりづるの解体・再生紙でノートを製作 4.メッセージを添えたノートを海外の貧困地域に送る 5.全体フィードバック
コメント	他大学の人と協力しておりづるを作成し、たくさんコミュニケーションをとることができてよかった。糸通しでは様々な年齢層の方から送られてきたおりづるを見て繋がりを感じ温かい気持ちになった。皆で協力し合うことによって挑戦できることが増えると思った。これからも積極的にボランティアに参加し、人の役に立ちたいと思った。 レイの長さ：15,579.7m (おりづるの総数：579,658 羽) がギネス世界記録に認定されて感動した。



【 7 - 1 1 】

広島県赤十字ボランティア研修会

小野寺 利恵(臨床検査学科)

目的または趣旨	赤十字及び赤十字運動について理解を深めるとともに、災害時における「食」に関する知識や技術を習得し、ボランティア活動の実践に資することを目的とする。
共催団体名および共催の経緯	日本赤十字社広島県支部
年・日時	2023 年 3 月 5 日
活動拠点	日本赤十字社広島県支部
参加者	学生：2 名
活動内容	基礎研修（講義・グループワーク） ・ 赤十字について ・ 炊出し体験 ・ ボランティアの活動について
コメント	実際に体験することで学び得たことがたくさんあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。また赤十字が思っている以上に身近であることを改めて実感しました。 災害時において完璧なものは存在しないことや、経験や知識が身を助けることを学ぶ良い経験になりました。



令和4（2022）年度
廿日市市との包括的連携協定に伴う
地域連携センター活動報告書

2023 年 8 月 31 日発行

発行者 山陽女子短期大学

地域連携センター

広島県廿日市市佐方本町1番1号

電話 0829-32-0909
